



REAR CAMERA ADAPTER

RCA057T

リアカメラ接続アダプター 取付/取扱説明書



このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

本製品はメーカーオプションのパノラマビュー映像を、ピン端子(RCA)で出力するハーネスです。

内容物一覧(取付前に必ずご確認ください)

- リアカメラ接続アダプター ×1
- 取付/取扱説明書(本書) ×1
- 切替スイッチ ×1
- 結束バンド ×5
- オスギボシ&スリーブ ×4
- メスギボシ&スリーブ ×2
- 両面テープ ×2
- 保証書/ユーザー登録カード ×1

ご相談窓口



サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442

【受付時間】月曜日～金曜日
10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)



メールでのお問い合わせ

<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>



弊社製品紹介・製品取付 動画サイト

<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>



Data System 株式会社 データシステム

<https://www.datasystem.co.jp/>

■ [本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

本書は著作権法で保護されています。本書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

注意事項

本書には取り付け / 取り外し作業中の事故、または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。ただし、これらの表記は起こり得るあらゆる現象に関して、すべて記載することはできないため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことを、あらかじめご承知おきください。

重要

本製品を取り付ける前に知っておいていただきたいこと

- 取り付けるナビゲーションにリアカメラ入力端子(ピン端子)があることを確認してください。
- 本製品はメーカーオプションのパノラマビュー映像を、ピン端子(RCA)で出力するハーネスです。この接続アダプターに、ディーラーオプションや市販のリアカメラは取り付けできません。
- 必要な場合はビデオ延長ケーブルを別途ご用意ください。

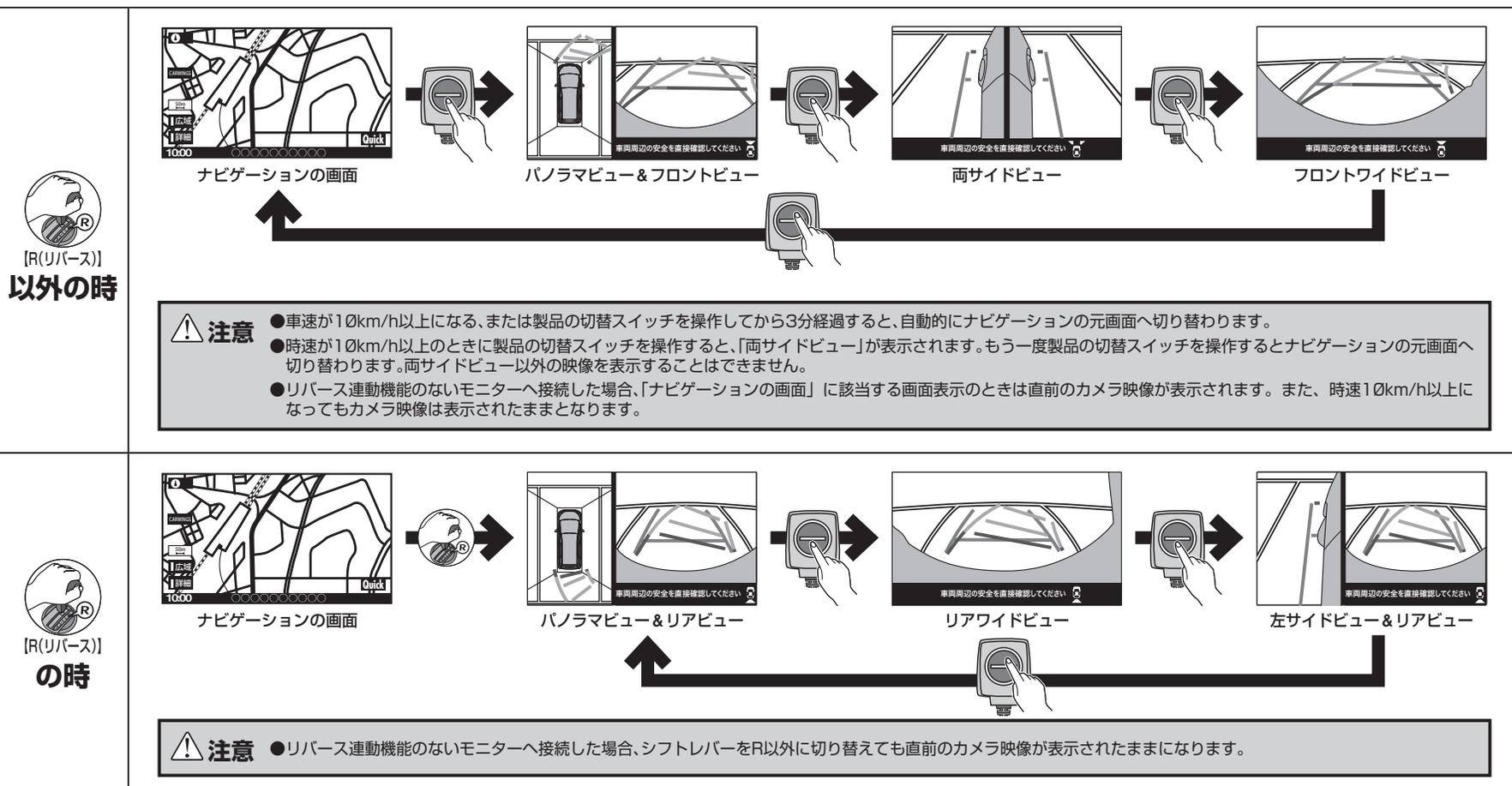
注意

守らないと車及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの

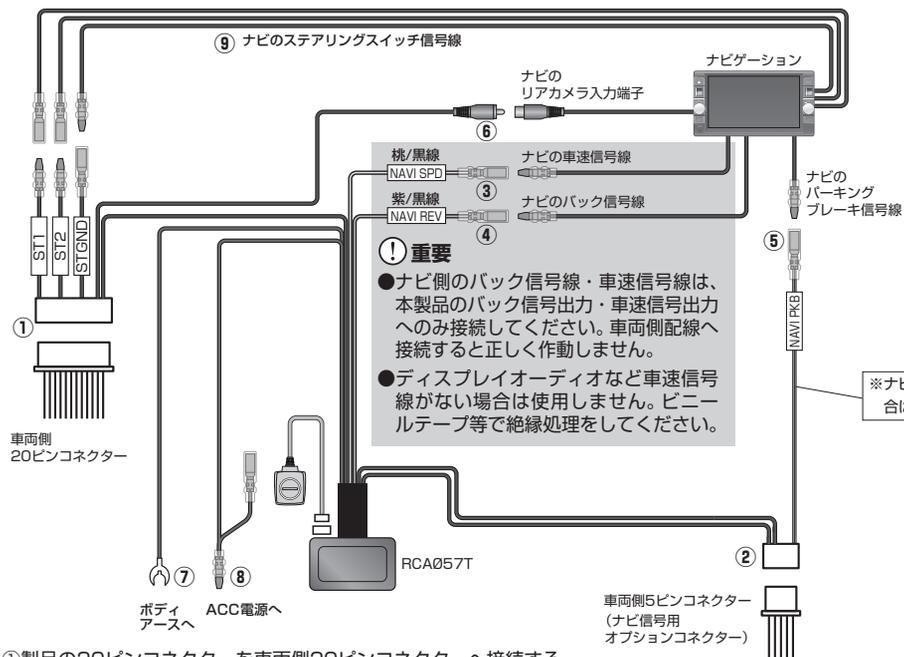
- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。ただし、その場合はラジオや時計などのメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力してください。
- テレビモニターやチューナーなどを点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外して頂きますようお願い致します。本製品を含みアフターパーツ類を取り付けしている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内の音楽ディスク、地図ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業をおこなってください。
- コネクタを外すときは、コネクタの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクタを無理に引っ張りますと、車両側ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクタを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクタの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線がパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性がある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要ですので、販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付け発生したクレーム、事故、故障などに関する責任は弊社では一切負いません。あらかじめご了承ください。

使用方法

- 重要**
- 製品の切替スイッチを2秒以上長押しすることでガイド線の表示を切り替えることができます。ガイド線は「予測+固定」・「なし」の順に変化します。ナビゲーションのガイド線と重複する場合はナビゲーションのガイド線を非表示にしてください。ナビゲーションによっては「車両周辺の安全を直接確認してください」などの注意喚起メッセージを消すことができません、重複して表示されたままになる場合がございます。
 - パノラマビュー映像が表示されている間はナビゲーションの自車位置にズレが生じます。
 - ナビゲーションによっては映し出される映像の範囲が異なる場合がございます。



取り付け方法



- ① 製品の20ピンコネクタを車両側20ピンコネクタへ接続する。
- ② 製品の5ピンコネクタを車両側5ピンコネクタへ接続する。
- ③ 製品の桃/黒線(車速信号出力)へナビの車速信号線を接続する。

注意 ●ナビの車速信号線と車両配線が接続されている場合は接続を外し、製品配線のみに接続してください。

ONE POINT ●ディスプレイオーディオなど車速信号線がない場合は、製品の桃/黒線(車速信号出力)は使用しません。ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。

- ④ 製品の紫/黒線(車速信号出力)へナビのバック信号線を接続する。

注意 ●ナビのバック信号線と車両配線が接続されている場合は接続を外し、製品配線のみに接続してください。

- ⑤ 製品の白/黒線(車速信号出力)へナビのパーキングブレーキ信号線を接続する。

注意 ●ナビのパーキングブレーキ信号線をボディアースへ接続している場合は使用しません。ビニールテープ等で絶縁してください。

- ⑥ 製品の映像端子(ビデオ端子)をナビのリアカメラ入力端子へ接続する。
- ⑦ 製品の黒線(クワガタ端子)をボディアースへ接続する。
- ⑧ 製品の赤線をアクセサリ電源へ接続する。

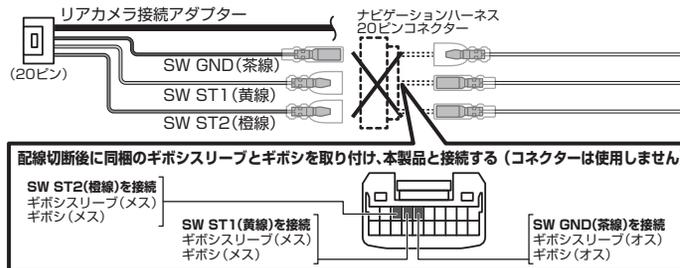
注意

- 必要に応じてギボシ端子を取り付けて接続してください。
- 装着されるナビによっては、本製品が作動中に車速に関するエラーメッセージが現れることがあります。この場合は本製品の車速信号出力は使用せず、ナビ側の車速信号線を直接車両側の車速信号線へ接続してください。
- 本製品の作動中は、ナビの自車位置が不正確になります。これは本製品がナビへバック信号を出力し強制的にリアカメラ画面を表示しているためです。不正確になった自車位置は、本製品の作動停止後にナビのGPS機能によって補正されます。(補正にかかる時間はGPSの受信状況により変わります)

- ⑨ 必要に応じてナビのステアリングスイッチ信号線を製品の20ピンコネクタにあるサービス配線へ接続する。

注意

ナビゲーションハーネスのステアリングスイッチ接続部が20ピンコネクタの場合は、ナビハーネスの20ピンコネクタを切断して本製品のギボシ線へ接続してください。



ONE POINT ●コネクタの端子図は配線側から見た図です。

